

プレゼンテーション要旨

プレゼンター

- ・ みずほフィナンシャルグループ 執行役社長 グループ CEO 木原正裕

グループ CEO 就任にあたっての思いや、22 年度の業務計画の策定において考えている軸をお話したい。

最初に、〈みずほ〉をどんな会社にしていきたいかという点で、二つほど共有したい。

1点目は、社員一人ひとりが、働きがいや〈みずほ〉で働く意義を感じるような会社にしたということ。そのために人材投資についてもしっかりやっていく。2点目は、企業風土の改革。一人ひとりの気付きが、皆で共有され、組織運営に活かされる形に変えたい。そのためには経営陣が社員の思いを受け止めて、いろいろな改革に活かし、実際に社員に変化を実感してもらうことが重要だと思っている。

次に、22 年度の業務計画の策定にあたって考えている軸について共有したい。

第一に、ステークホルダーの皆さまからの信頼回復を目指す。業務運営の安定化が何より重要と考えている。業務改善計画を策定したが、資料は分量も多く分かりにくかった部分があると思っている。これまでの歩みを簡潔な形でまとめ、多くの方にお示しすることで、取組みの進捗を感じ取ってもらえるようにしたい。

第二に、経営資源配分が十分でない領域に対し投資をしていく。これは人材と IT システムの双方に共通する考え方になる。そのためには現場実態をきちんと把握することが必要であり、指示を出したところだ。

第三は、5 カ年経営計画を完成させる。これまでの成果が、本当に強みになっているかを冷静に分析した上で、手ごたえのある領域は更にドメインを広げていきたい。一方で課題となっている領域は、対応策を考えていく。

第四は、5 カ年経営計画の先を見据えて布石を打っていきたい。〈みずほ〉の強みは、各エンティティの機能をつなぎ合わせたソリューションを提供すること。これについては、本日のテーマでもあるサステナブルビジネスを始め、足元の 3 年間で着実に成果が出てきている。今後の布石を考えるとすれば、まだ実証途上で確立されていない技術に、〈みずほ〉としてどう関与できるかという論点などがあり、そういう議論も始めている。

最後はやはり DX。〈みずほ〉の DX 戦略がどういう形で進んでいるのかを、十分に情報提供できていないという思いがある。改めて軸を作っていきたい。リテールのみならず、ホールセルの領域

でもいろいろなことが起きているので、説明していきたい。

私自身の方針として、オープン、アカウンタブルを標榜しており、双方向の対話をしていきたい。これはおかしいぞという事があれば指摘いただいて、ぜひ議論をさせてもらいたい。